

伊藤君子 (Vo)

香川県小豆島生まれ。4歳のとき、ラジオから流れる美空ひばりの歌声に魅せられ、歌手を目指す。

1982年、ジャズアルバム「ハーバーランド」でレコードデビュー。その後、ニューヨークのジャズクラブの出演、日野皓正グループをはじめとする日本の本格派ジャズグループとの共演でジャズの実力を磨き、国内外で彼女の歌唱力は高く評価されていった。

1989年、日米同時発売されたアルバム「フォロー・ー」は米ラジオ&レコード誌のコンテンポラリー・ジャズ部門の16位にチャートインするという日本人女性ヴォーカルリストとして初の快挙を成し遂げた。

ジャズ・ヴォーカリストとして確固たる存在となった伊藤君子は、以降アルバム、コンサート、海外のジャズフェスティバル、テレビ、ラジオ番組、ライブハウスと、幅広い活動が続けている。

2000年にリリースされたニューヨークのスタジオ・レコーディング・アルバム「KIMIKO」はプロデューサーに小曾根真を迎え、ヴォーカリストとしての伊藤君子の魅力を存分に引き出したものとなった。このアルバムは、2000年度スイングジャーナル誌ジャズディスク大賞ヴォーカル賞を受賞した。

彼女の歌に向かう真摯な姿勢はいつも変わらない。

彼女は、その肉体と精神のすべてをぶつけて歌っている。

